

増穂だより

vol.232



芝浦工業大学柏中学高等学校 〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地
 TEL : 04-7174-3100(代) FAX : 04-7176-1741
 URL <http://www.ka.shibaura-it.ac.jp/>

■編集／芝浦工業大学柏中学高等学校 総務部
 ■発行日／令和5年5月2日 発行
 ■印刷／株式会社横浜総合写真



入学式が行われた4月7日、芝柏で元気に泳ぐ鯉のぼりが見られました。かつては本校の春の風物詩でしたが、十数年前から途絶えていました。当時のことを知る教員から寄贈され、十数年ぶりの復活です。

鯉のぼりの風習は、中国の故事がルーツです。黄河中流にある竜門という滝には、登り切った鯉が竜になるとの言い伝えがあり、鯉の滝登りが立身出世の象徴になりました。「登竜門」ということわざの由来にもなっています。

元気に泳ぐ鯉のぼりを見ながら、本校の生徒の皆さんが将来社会で活躍できるように教職員一丸となってサポートしなければならない、と気持ちを新たにしました。

Contents

■PTA 情報 / 後援部情報	2P	■トピックス1	4P
■学年情報 (中学 / 高校)	3P	■トピックス2	5P
■中学 22 期生卒業式 / 2023 年度入学式	4P		

PTA 情報

2023 年度 PTA 活動について

PTA 会長

中学・高校の新入生並びに保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。また、在校生の保護者の皆様には日頃より P T A 活動にご理解・ご協力頂き、誠にありがとうございます。

今年度も、本校の生徒達が充実した学校生活を送るための一助となりますように、PTA 本部も活動して参りますので、ご理解・ご協力をお願いします。

① P T A 活動について

本校の PTA の活動目的は、「学校と家庭との関係を密接にし、地域社会とともに協力して、生徒の正しい成長と学校の発展に資すると共に会員相互の研修親睦を図る」ことです。その目的に沿って、学校と連携し、生徒の学校生活を支援する活動をおこなっています。また、保護者同士も P T A 活動を通じて、学年を越えた交流の機会も得られています。

昨年度より、ようやく平常時の活動を全て行うことができました。増穂祭でも活動制限のある中で、学年間の交流を通して、楽しく活動できた様子が印象的でした。また、文化講演会も今までと違うワークショップ形式の会が開催され、人と人のつながりの大切さを改めて感じる機会も得る事ができたことで、参加した多くの保護者の方々が、交流を愉しむことができました。

本年度も引き続き保護者同士で愉しんでいければと思います。

② 幹事会活動について

PTA 活動の中心となるクラス幹事は、本年 4 月に開催しましたクラス保護者会で選出頂きました。

幹事の皆様は、定期的に開催する幹事会の参加時に学校にお越し頂き、日頃の学校や生徒達の様子を身近に垣間見ることができます。また、校長先生からの学校状況の報告を聞く機会を得られます。その他、学校と保護者との橋渡し役をすることもクラス幹事の役目となります。クラス幹事を中心として、各クラスの保護者の皆様、教職員方、そして PTA 本部役員と連携・協力しながら有意義な活動にしていきたいと思います。また、学年毎に選任す

る学年代表の皆様は、PTA 役員会にもご参加頂き各学年の活動報告などを行って頂きます。

③ 年間行事予定について

P T A 年間行事は、①クラス懇親会の開催、②増穂祭（文化祭）への各部門出展、③文化講演会の開催、④次年度の本部役員を推薦する次期役員選考委員会⑤私学振興大会への参加となります。また、本年度より全体懇親会も年数回開催を予定していますので、学校の先生や保護者との研修親睦を図る為に皆さんご参加頂ければと思います。

④ 学年幹事会活動について

卒業年度の学年幹事会活動として、中学 3 年の「巣立ちの会」、高校 3 年「卒業を祝う会」を例年、学年幹事会で決めた内容で開催をしています。昨年度も無事開催されました。また、昨年度の卒業記念品として、体育館に大型プロジェクターを設置しました。

これらの企画・準備・運営は当該学年のクラス幹事の皆様を中心に先生方と連携して活動を行って頂ければと思います。

⑤ その他の P T A 活動について

保護者全員を対象に希望者が参加している活動として、以下の 2 つの取り組みがあります。

(1) 「仕事塾」

生徒のキャリア教育として授業の一環で、年 2 回開催しています。働くことの楽しさや経験をお話頂き、進路選択の一助となることを目的にしています。2020 年、2021 年には海外の保護者をリモートで繋いで活動も行いました。生徒の身近な人生の先輩として、元気な大人の様々な仕事を通じた楽しさなどをお話頂ければ幸いです。

(2) 「花壇整備活動」

学校構内の美化活動としての月 2 回程度・土曜日の午前中に活動していますので都合の良い日に参加頂けます。花壇やプランターの整備などの活動を通じて学年を超えた保護者間の交流の場にもなっています。

本年 5 月開催の PTA 総会を以て、本部役員が新たに選任されます。新体制においても、引き続き P T A 活動へのご理解・ご協力をお願い致します。

後援部情報

2022 年度 活動報告

PTA 後援部部長

新入生の皆さん、並びに保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。また、新しい学年に進級された皆さんも、新たな学校生活に胸を弾ませていることと思います。

後援部は、保護者の皆様からお預かりしている PTA 会費の一部を芝柏の生徒や教職員の教育環境に役立つよう、どのような支援をするか検討し、実行していく役割を担っています。施設・設備並びに教育用備品に関して、原則として中長期的視点をもって検討し実行していく役割を担っています。

昨年度の活動報告では、部活動支援として、硬式野球部バットマシ、体育館設置エアロバイク、サッカー部審判用品、水泳部パーテーション・ロッカー増設、吹奏楽部楽器修理。また学校施設・設備支援として、中央棟ピロティ天井塗装、災害時用ポータブル電源、課題研究活動ポスター展示設備、図書管理システム導入等の支援を実施しました。また、増穂祭で出展した「後援部カフェ」では、多数の方々にお越しいただくとともに、施設・設備に関する沢山のご意見を頂戴しました。本年度も、老朽化した備品・設備や新しく必要と思われる物の支援の検討を行い、快適な環境で学校生活を行って頂けるよう活動してまいります。そのために皆様へお願いしたいのは、ご意見・要望を担任や部活動顧問の先生方にお伝え頂きたいということです。引き続き、後援部の活動にご理解とご協力を頂きたく、宜しくお願いします。



学年情報

中学 1 年
大人への第一歩
学年主任

『ロンドンでは次に来る人のためにドアを開けて待っていてくれる。そして「Thank you.」「You're welcome.」と自然とあいさつの声がこぼれてくる。』

昔そんな CM が流れていました。「人を思いやる」という習慣が深く根付いていると思われま

す。日本ではどうでしょうか。電車やバスでの乗車マナーや教室内、校舎内での過ごし方など、相手を思いやった生活・行動はできているでしょうか。

ここに集った 192 人は生まれも育ちも違います。異なった環境で過ごしてきた者同士が生活するためには、やはり相手の立場に立ってすべての物事を考えていく必要があるのではないのでしょうか。「自分がされたら嫌だなあ」と思うことは絶対に人にはしてはいけな

い。逆に「してもらってありがたかった・嬉しかった」と思ったことは、そっとしてあげる。

そんな相手を思いやれる心をもった人間に育ってほしいと願っています。

高校 1 年
44 期生「前後際断&芝柏 Family」
学年主任

44 期生の学年目標は「前後際断（ぜんごさいだん）」この「前」というのは過去の出来事。そして「後」というのは未来のこと。前と後の「際を断つ」。つまり、過去も未来も断ち切って、今この時に集中せよという意味。一日一日、一回一回、一瞬一瞬を大切に過ごそう。その繰り返しが明るい未来を創り上げていく。「未来は日々の積み重ね」という考え方。

学年通信のタイトルは「芝柏 Family（シバカシファミリー）」生徒・保護者・教職員・卒業生、芝柏に関係するすべての人たちは、家族であるという考え方。家族のように温かで、何でも相談できて、喜怒哀楽の気持ちを共有できて、刺激し合って、みんなが味方である。

年度当初の高入生 PC ガイダンスでは、中入生が「ICT サポーター」として約 30 名も来てくれて、高入生のサポートをしてくれました。ありがとう。早くも「芝柏 Family」でした。引き続き、皆さんで協力して、今いる芝柏で最高の 3 年間を創っていきましょう。

中学 2 年
自立に向けて
学年主任代行

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。学年主任の山田が体調を崩しておりますので、暫くのあいだ代行いたします。どうぞよろしくお願いいたし

ます。生徒たちは思春期を迎え、これから精神的に不安定になる時期だと思います。大人として扱ってほしいと思いつつ、都合よく甘えて自分に言い訳をしたり、他人に対して攻撃的になったり、なかなか気力が湧いてこなかったり…。しかし、そんな時こそ成長のチャンスです。外向きの矢印から内向きの矢印に変え、自分自身を見つめられるように導きたいものです。お子様に不安定な様子が見られたら、まずは「やっと来たか」と迎えてあげてください。自立のチャンスを伺い、少しずつ手を放していく心構えでいながら、心は離さずにいたいものですね。

高校 2 年
高校 2 年生らしく学校生活を過ごそう
学年主任

日頃より学年の教育活動へのご理解とご協力、心から感謝申し上げます。それぞれの進路に向けて自ら選択した文系、理系のカリキュラムに分かれた学習がスタートしました。新たな仲間との共同生活のなかでお互いを刺激しながら学力を高め、中心学年として行事を盛り上げてもらいたいと大いに期待しています。今秋に開催される増穂祭に向けて実行委員を中心に、よりよい増穂祭実施のために学年での話し合いが活発に行われました。様々な意見が飛び交いましたが楽しく安全な増穂祭実施を願う気持ちは 43 期生全員が同じです。高校 2 年生らしい活躍を期待しています。学習や進路の悩みから体調や気持ちの変化が起こりやすい時期でもありますので、お子様の体調をはじめ何か気になることがありましたらお気軽に連絡を頂けたらと思います。今年度もよろしくお願いいたします。

中学 3 年
しばかし 3 年生、2nd ステージ突入
学年主任

23 期生も芝柏での生活が 3 年目に突入しました。中学校の最高学年となり、子供達の表情も一段と引き締まった様に思われます。コロナもようやく終息が見えてきたので、部活動や委員会、学校行事だけでなく、学校外での活動にも積極的な関わりを持って欲しいものです。一方で、シバカシ 6 年では土台作りの 2 年間が終わり、自分なりの RQ（リサーチクエッション）を見出す 1 年となります。自分がどういう存在でありたいのか、どのように社会に貢献していくのかなど、色々と思考する 1 年間にしたいと考えます。

中学 3 年生、そろそろ反抗期も終わります。お子様を 1 人の大人として扱って頂き、彼らの要望にできる限りお応え頂き、一緒に『探究』して下さると助かります。今年度もどうぞ宜しくお願い致します。

高校 3 年
新しい道を拓く 1 年に
学年主任

日頃より保護者の皆様には、ご協力とご支援を賜り、感謝申し上げます。芝柏での最後の 1 年は、教室もホール棟に移り、窓越しの新緑や爽やかな風の後押しもあり、心新たに新年度を迎えた一方で、1 月の 0 学期集会からは 4 か月が過ぎ、先のことと思っていた大学受験も現実のものとして迫ってきました。志を実現させる今年度の挑戦は、すぐに成果の出ることではなく苦勞を伴うかもしれませんが、頑張りぬいた経験は、必ずこの先の人生において大きな財産になると信じています。縁あって芝柏に集った 42 期生が互いの頑張りを認め合い、支えあいながら、最後の 1 年をチームとして逞しく走り切ってほしいと思います。学年団一同、お子様たちが最後まで志を貫き通せるように全力でサポートしていきます。保護者の皆様、本年度も引き続きよろしくお願いいたします。

■ 中学校 22 期生 卒業式 ■



卒業生代表の言葉

学校の河津桜も咲き、暖かな春を感じられる季節となりました。私たち中学 22 期生は芝浦工業大学柏中学校を今日、卒業します。僕たち 22 期生は、コロナ禍真っ只中で可哀相な代と言われますが、僕はこの学年に入れて、この代の一員になって、恩師や素晴らしい友達と出会えて本当に良かったと思います。でも、僕たち 22 期生はもっと切磋琢磨し、高め合える関係、本当の仲間、真の絆、今の関係が偽りというわけではありませんが、もっとお互いをリスペクトできる友達、心から友達だ

中学 22 期生徒会長

と思える友達を次の高校卒業式までに一緒に作ってほしいと思うとともに、作っていけると思います。僕たちはこれから先、どんな困難に出会っても、諦めず、助け合い、高め合い、学んだこと、経験したすべてのことを活かし、感謝の気持ちを忘れず、成長していくことができると思います。僕たちが受け取った卒業証書は終わりの証ではなく、次のステップへの始まりの証だと思います。これからも覚悟を持って目標に向かって努力をしていきたいと思っています。ありがとうございました。

■ 2023 年度 入学式 ■



Topics

中学 Web コンテスト

半年以上かけてWEB ページを作成し、厳しい選考の後、2 月に聖心女子大学にてプレゼン発表をした中学生 3 チームが賞をいただきました。長いようで短い期間でしたが自分の「好き」「興味」をいっぱい追求し、楽しんだ時間でした。この探究が未来へと続くことを希望します。「Stress Pitfall ～ストレス社会の落とし穴～」が金賞・ベストオーディエンス賞を、「これからのエネルギー～Let's prevent global warming?～」と「パラサイトはパラダイス」が銀賞を受賞しました。受賞した皆さん、おめでとうございます！そしてお疲れさまでした！3 チームとも素晴らしい発表と作品内容でした。応援していただいたご家族・周りの方々に感謝いたします。ありがとうございました。



高校 Web コンテスト

去る 2/18 (土) に、全国中学高校 Web コンテストファイナルプレゼンテーションが開催されました。高校からは 3 チームが参加し、「マグロの学校」がプラチナ賞・経済産業大臣賞 (全体 3 位) を、「豪雨と、生きる」、「昆虫食を明日の食卓へ」がそれぞれ銀賞を獲得しました。3 チームとも素晴らしい発表・質疑応答をしてくれ、その堂々たる姿に胸が熱くなりました。ご協力、そして応援していただいたすべての皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

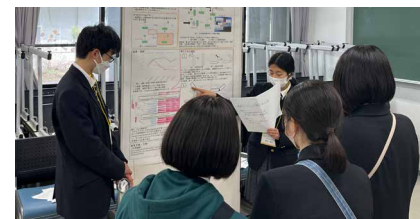


Topics

探究成果の発表 (生徒の活躍)

植物生理学学会@東北大学

高校 2 年生の生徒 2 名が東北大学で開催された植物生理学学会でポスター発表を行いました。研究タイトルは「植物の姿勢保持に関する研究」です。物理選択ということもあり、植物の成長を物理学的に考察していました。専門に研究している大学の方に助言をいただいたり、同じ高校生とも質問しあうことで研究意欲を高めていました。



日本地理学会高校生発表会に参加

3 月に東京都立大にて行われた日本地理学会高校生発表会に、課題研究に取り組む生徒 3 名が参加しました。久しぶりの対面開催で、北は山形県から南は宮城県まで 52 件の応募がありました。地理学を専門とする大学教員、院生からご指導をいただく貴重な機会で、研究を多面的・多角的な視点で見つめなおす良い経験になったと思います。

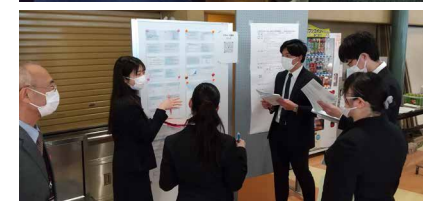


化学工学会若手の会・高校生発表会

化学工学会関東若手の会主催の高校生を対象とした発表会が 3 月に東京理科大学葛飾キャンパスを会場に開催されました。本校からも高校 2 年生徒が参加し、奨励賞をいただきました。この発表会は、エントリーした高校生が、数ヶ月間、研究者の方からアドバイスをいただきながら研究を進めるもので、齋藤君は学校の授業 GS II で取り組んできた、「入浴剤に含まれる成分と美肌効果との相関関係」の研究を発表しました。今後も多くの生徒に、このような大学、企業の研究者にふれるイベントに積極的に応募してもらいたいと思います。

生徒探究発表会・公開研究授業の開催報告

2023 年 2 月 18 日 (土) の午後、本校の大会体育館と交流館にて中学 1 年生から高校 3 年生までの延べ 223 名の生徒 (162 件) が研究発表を行いました。4 年ぶりの対面開催でしたが、身体性の伴う場でしか得られない気づきがあったようです。また、同日午前中には本校教員による公開研究授業を実施し、80 名を超える外部教育関係者に参加していただきました。その後の検討会での議論も非常に充実したものになりました。



探究関係外部発表会

生徒の課題探究の実践報告について学校外の発表会でも発表しました。千葉県課題研究発表会が 3 月 18 日 (土) に千葉工業大学津田沼キャンパスにて行われ、全体で 279 件の発表がある中で、本校からはポスター発表 26 件、口頭発表 4 件を行いました。また、関東近県 SSH 指定校合同発表会が 3 月 26 日 (日) に工学院大学新宿キャンパスにて行われ、全体 489 件中、本校からはポスター発表 15 件、口頭発表 2 件を行いました。こちらは、文系の探究も発表し、高校生新聞の取材も受けました。コロナ禍では発表会の中止やオンライン形式での発表会となるのが非常に多かった中で、どちらも 3 年ぶりの対面形式での大規模な発表会となり、生徒も自身が発表するだけでなく他校の発表に直接触れることで、新たな興味関心が引き出されたことと思います。

水泳部

中高女子、全国大会出場

○高校女子○

高 3 生徒が千葉県選抜に選出されました。3 月 18 日～ 21 日に新潟県で開催された全日本ジュニア (U17) 水球競技選手権大会に出場し、優勝を果たしました。

○中学女子○

中学女子チームは、1 月の関東予選を突破し、3 月 26 日～ 30 日に開催された全国 JOC ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会に出場しました。決勝トーナメントには進出できませんでしたが、さらなるレベルアップを目指していきます。



高校科学部

科学技術チャレンジ (JSEC)

科学部の高校 3 年生徒の「エタノール水溶液蒸留中の温度変化」という研究が昨年度第 20 回高校生・高専生科学技術チャレンジ (JSEC) において、審査委員奨励賞を受賞しました。この研究では、中学理科の教科書に掲載されている蒸留実験より着想を得て、装置内での温度を精緻に測定することで、沸騰の開始点を明らかにし、教科書の記述を検証しました。現在では、蒸留に関する他のテーマについても自らの発想で様々な実験を繰り返して研究を進めており、更なる活躍が期待されます。

